

## 平成30年度 第5回 吹田市政策会議概要

日 時：平成30年8月7日（火）午前10時3分から午前10時57分まで

場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

構成員：後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長、小西総務部長、稲田行政経営部長、  
小林税務部長、高田市民部長、畑澤都市魅力部長、後藤福祉部長、  
石田健康医療部長、岩田会計管理者、村上消防長

所 管：【行政経営部（資産経営室）】中川理事、長井室長、古谷総括参事、新野参事、  
岡田主幹、北野主査

【児童部（子育て支援課）】中野部長、堀課長

【学校教育部（教育政策室）】橋本部長、生駒室長、堀参事

【地域教育部（まなびの支援課）】木戸部長、落次長、小西課長、稲垣主査

【地域教育部（中央図書館）】宮東館長

案 件	北千里小学校跡地複合施設整備事業及びグラウンド売却について
担当及び関連部局	行政経営部（資産経営室）、児童部（子育て支援課）、学校教育部（教育政策室）、地域教育部（まなびの支援課、中央図書館）
<p><b>【案件概要】</b></p> <p>平成29年(2017年)7月21日開催の企画会議にて、北千里小学校跡地の今後の利活用の方向性が確認された。今般、当該方向性に沿い、具体的に複合施設の整備を進めようとするものである。また、当該複合施設も含め、全市的に必要な公共施設の整備を進める財源を確保するため、当該複合施設整備と時期を合わせ未利用地であるグラウンドを売却するものである。</p> <p>北千里小学校跡地において</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設整備計画は一旦中止されていたが、これまでの経過を踏まえ、早期に複合施設として整備に着手する。</li> <li>2 吹田市公共施設最適化計画【実施編】の考え方を踏まえ、各施設機能が融合し、柔軟な利用ができる複合施設を整備するため、プロポーザル方式による業者選定を想定し、基本計画、基本設計、実施設計を一括発注する。</li> <li>3 グラウンドは、公共施設整備の財源確保のため一般競争入札により売却する。</li> </ol>	
<p><b>【所管部の考え方】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 複合施設整備事業 平成29年(2017年)7月21日開催の企画会議の方向性に沿い、児童センター、地区公民館、図書館を複合施設として整備し、併せて北千里小学校メモリアルコーナーを整備する。</li> <li>2 北千里小学校グラウンド売却 北千里小学校跡地での複合施設の整備に併せ、グラウンドを売却し、売払い収入を、上記複合施設を始め全市的に必要な公共施設整備の財源に充てるため、公共施設等整備基金に積み立てる。地方自治法第96条第1項第8号の規定に基づき市議会の議決</li> </ol>	

を得た日から効力を生じる売却を実施する。

**【質疑概要】**

意見： 検討しているスケジュールどおり進めていくようにしてほしい。

意見： 費用面について、工事費も大事だが、ランニングコストを抑えられるように、長期的な視点で検討すること。そうしたコンセプトも含めて、プロポーザルで提案してもらえるようにしてほしい。

意見： この複合施設は、公民館と児童センター、図書館の単なる合築ではなく、それぞれの機能を融合させるというこれまでにないコンセプトを持って整備していくものである。プロポーザル方式による事業者選定に向け、より多くの民間のアイデア、ノウハウを引き出せるような投げ掛けをできるように、しっかりと準備すること。

これからの施設は、木材利用計画や災害対応等を意識してほしい。施設の運営方法についても、柔軟な提案をもらえるように工夫してほしい。

意見： 公民館、児童センター、図書館をそれぞれ個別に整備した場合と、複合施設を整備した場合の比較を整理しておいてほしい。

**【結果】**

本案件は承認された。今回の会議で出された意見を踏まえて、手続を進めること。